



世帯数 5,925 戸
人口 14,520 人
(平成 27.11.1 現在)

『寿地区合同防災訓練』

10月4日(日) 寿地区防災訓練が行われ、12町会合同防災訓練も2年目となりました。

九官鳥会に災害対策本部要員をお願いし、館報編集委員には各町会の記録係、視聴覚委員には映像での記録をお願いいたしました。次回以降も引き続きお願いしたいと思います。徐々に防災訓練も充実した内容になり、災害時に住民の皆様を安全に避難できるのではないかと思います。



今回新しい訓練といまして、

①震度7を想定して一時集合場所(公民館)に住民の皆さんを安全に収容する手順を習慣化するために家屋緊急点検を町内在住、松本建築士会会員と合同で行いました。

②公民館から市指定避難所までの行程(道順)確認訓練を行いました。1グループ5名以上(責任者、副責任者、安協、記録係、住民)で構成し、どこが危険か点検確認し安全に避難所に全町会が到着いたしました。今後の訓練は避難所運営訓練のみとなり、早い時期に計画し実施したいと思っております。

今回の合同防災訓練安全確認者数は3,586名でした。無事終了できましたのも役員町会住民の皆様協力の賜物と感謝いたします。
(寿地区防災部長 表 佳明)

竹淵防災訓練

10月4日に参加者213名で実施し、訓練項目は避難訓練、初期消火訓練、AED救命訓練、放水訓練、防災講和聴講、炊き出し訓練の6項目行いました。



本年度は、AED救命訓練を取り入れて行い大変勉強になりましたと好評をいただきました。町会防災会の防災訓練の実施の趣旨は、本庁内の組織の活性化と町民の防災意識の高揚を図り地震、火災、水害等災害発生時の被害拡大の防止、軽減を図る事を目的としています。目的達成のために町民全員が日頃より災害に対して危機意識の高揚と防災意識の構築ができればと考えます。
(寿地区防災部 長澤 厚)

『寿地区住民運動会』

今年も晴天吉日秋空の下、寿地区住民運動会が賑やかに開催されました。今年には、15種目で争われ、参加した12町会が大優勝旗を目指し、それぞれの競技で競い合いました。

今回は、筑摩野中学校の生徒が地域とのコミュニケーションを目的として、スタッフで参加。元気で若々しい大会となりました。特に注目の競技をいくつか御紹介しましょう。

今年2つのブロックで競う方式となり、男女各12名のチームで、小学生男女4名を含めたハンデのある種目と変わりました。



「男女年代リレー」
小学生から、40歳以上の、年代別で6名の選手を送り出し、寿地区の俊足男女ナンバーワンを決める町会の威信を賭けた競技です。優勝は、男女共に寿田川町会、百瀬町会がアベックで俊足ナンバーワンの称号を手に入れました。

『ムカデ競争』

5名1組で足首を縛り合い気合十分、大きな掛け声で練習に励む姿が印象的なこの競技は、呼吸を合わせて速さを競います。その姿はまさに、町会団結力ナンバーワンを競う、プライドをかけた競技です。コスプレで、コミカルさを出したチームも参加し、大変な盛り上がりを見せました。



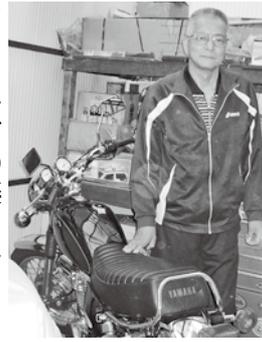
各町会の頑張り、寿地区の団結力と、強い絆を感じさせてくれる大会となりました。
(館報委員 小林 義二)



総合順位

総合優勝	百瀬町会
準優勝	赤木町会
3位	小池町会
4位	寿田川町会
5位	上瀬黒町会
6位	竹淵町会
7位	白姫町会
8位	白川町会
9位	豊町町会
10位	竹原町町会
11位	寿田町町会
12位	下瀬黒町会

わがまちこの人



山田孝さん

ツーリングの楽しみ

竹測町会の山田孝さんを紹介いたします。山田さんは、バイクのツーリングを楽しんでおいでです。

バイクに目覚めたきっかけは？
小学生の頃、リトルホンダに乗ってエンジンをかけて走ったところ、「こんなに楽なものか。」と思ったのがきっかけでした。
当然16歳で免許は取りましたよね？
限定解除の大型免許を取りました。兄のお下がりの450ccのバイクが最初の自分のバイクでした。

今はどうにツーリングを？
仲間と林道ツーリングを楽しむことと、一人で公道を走ることを楽しんでます。仲間と走っていると自分の知らないことを教えてもらったりして、得るところは非常に多いです。

圧倒的に、自分でコントロールしているという感覚が非常に楽しいですね。季節を感じるのがいいという人もいます。風を感じると楽しみというのとはたしかにありますが、冷暖房の効いた四輪のほうが快適に決まっていると思います。

現在所有のバイクは？
・YAMAHA SR500
・HONDA XLR250
・SUZUKI バーディー90(通勤用)

奥さんは何も言いません？
結婚当初は、「30歳まで」との約束でしたが、今は何も言いません。あきらめたってことかな。ハハハ。

山田さんはこれまでに、モトクロスコースで転んでけがをしたことはあったそうです。大きなけがはそれ以外にはなく、本当に、バイクを自分の体と一体化させ、きちんとした走りを楽しむ真のライダーだなど思いました。

(館報委員 上平 貴明)

寿地区地域づくり協議会主催講演会

9月12日寿公民館に於いて、松本大学総合経営学部の白戸洋教授による講演会がありました。

参加者は80名近く、内容は「地域づくり実践家」の観点から寿の未来をどう育むのかの提案でした。経験に裏付けされた話は、具体的にユーモアもあり参加者を強く引き込みました。



「地域の中の経済活動の流出で地域が崩壊し、都会では『会社』という村が出来た。きしむ経済と行政の歯車、都会の村も壊れた。新しい『むら』をどうつくるか、それが地域の再構築に繋がる。」という視点から始まりました。

最後は地域づくりを未来になぐために「地域に経済を取り戻す」「未来に託す若者を育てる」「地域に『場』をつくる」の提案と、「意識は行動を変えない。行動は意識を規定する。」的印象的な言葉で終わりました。

(館報委員 林 浩一郎)

第27回 寿地区親子史跡巡りウォーク

11月3日(火) 寿公民館文化祭協賛行事の一つ、親子史跡巡りが執り行われました。当日は、小雨まじりではありましたが赤木下の宮に朝8時に集合、親子連れを含め60名程集まりました。



寿史談会の方の解りやすいご説明により4時間15箇所程の史跡めぐりしました。仏像や道祖神などの説明だけでなく、時代背景や地形の成り立ちなど様々な角度から、また手作りのイラストも交え大変参考になるものでした。

参加者の方々からの質問などもあり、とても雰囲気の良いちよつとした遠足気分の感じの行事となりました。なかなか地元の人でも、その土地の歴史を知る者が少なく、後世に語り継ぐべき事、また地域行事の一つとしてこの様な催し物は必要と感じました。

(館報委員 青木 益男)

「白川高齢者の集い」

6月13日に白川公民館において「白川高齢者の集い」が開催され、大勢の方々にご参加いただきました。当日は気持ちよく主演をお引き受けくださった小林五男氏、大和貴子氏による尺八の演奏と艶やかな舞踊が始まり、午前の最後は参加者全員による「キヨシのズンドコ節」の大合唱で終わりました。

午後はみんなで唄うカラオケで、次々に画面に表れる懐かしい唄や、自分の持ち唄をリクエストして熱唱するなど普段のストレスも声を出すことで消えていき、楽しい高齢者の集いになりました。

ご協力いただいた皆様により感謝申し上げます。

(実行委員長 藤森 東洋雄)

